

## 人権・同和教育

### (1) 目 標

人権に対する意識を高め、さまざまな人権問題の解決に、主体的に取り組む生徒の育成をはかる。

### (2) 方 針

1. 人権学習、部落問題学習を通じて差別を許さない生徒を育てる。
2. 同和地区生徒の進路保障に取り組む。
3. 保護者、地域との連携を深める。
4. 教職員研修の充実をはかる。
5. 学習支援推進教員は、人権・同和教育の企画、立案、指導に努める。

### (3) 具体的方針

1. 人権学習、部落問題学習を通じて差別を許さない生徒を育てる。

\*学校教育すべての場で、深めあい、みがきあい、高めあう仲間づくりを目指し、人権を守り尊重する力を育てる。

\*教科学習や特設授業を中心に、社会問題、差別の歴史と人権確立への歩み、人権の尊さを学び、展望を持って広く社会問題に取り組む生徒を育てる。

2. 同和地区生徒の進路保障に取り組む。

\*基礎・基本をおさえたいよく分かる授業を創造して、学力の向上を目指す。

\*基礎学力・学力向上委員会と連携をとり、基礎的な学力をつけるための活動に取り組む。

\*同和地区の生徒、家庭、地域の実態や願いを把握し、ひとりひとりの適正を生かす進路の保障を目指す。

3. 保護者、地域との連携を深める。

\*育友会との連携を深め、人権・同和教育を進めるため、各小学校との実践交流を深める。

\*地区子ども会と協力し、生徒の進路保障や人権・同和問題の啓発活動に取り組む。

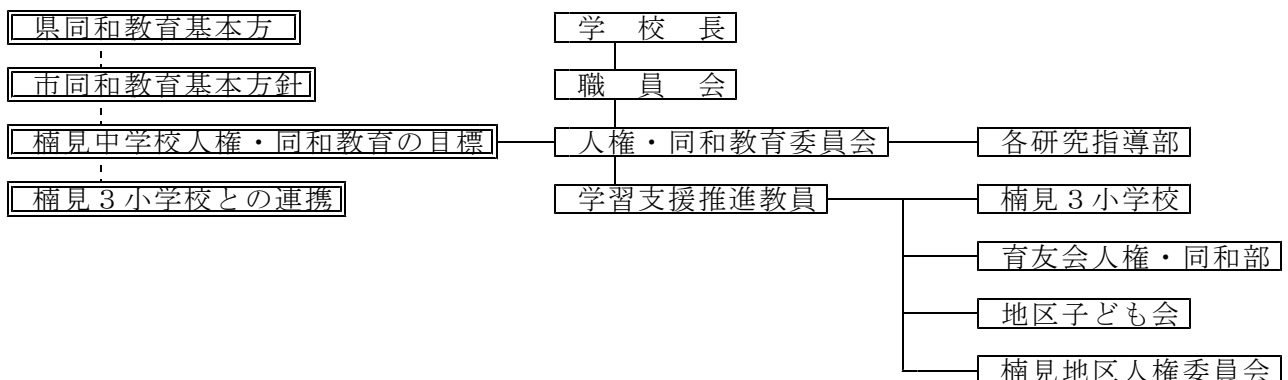
4. 教職員研修の充実をはかる。

\*各種研修会、研究会へ積極的に参加する。

\*現職教育を充実させ、人権・同和教育実践の力量を高める。

\*生徒の指導にあたっては、表面的な現象にとらわれず、生徒を取り巻く環境や背景・実態を把握し、きめ細かい指導につとめる。

### (4) 人権・同和教育推進組織



(5) 各学年のねらい

- 1年生・・・身のまわりの差別や偏見、不合理に気づき、解決していこうとする力を育てる。
- 2年生・・・歴史学習を通じて、差別の歴史と人権確立への歩みを正しく理解し、人権意識を高める。
- 3年生・・・部落問題学習を通じて、人権の尊さを学び、展望を持って人権・同和問題の解決に取り組む力を育てる。

(6) 年間指導計画

	1年	2年	3年
4月	○生活アンケート○基礎学テスト ○少人数学級理解 「私たちの学級」	○生活アンケート	○生活アンケート
6月	○仲間づくり、いじめ問題 「遊びのつもりでも」「ちょっとちがう」		○部落問題学害 「三月三日の風」
8月	○平和学習 「仲ちゃんのさんりんしゃ」	○平和学習 「おこりじどう」	○平和学習 「まっ黒なおべんとう」
9月		○職業問題 「働く人の生き方に学ぶ」	
10月	○障害者問題 「新ちゃんが泣いた」		○部落問題学習 「サンセット・サンライズ」 ○仲間づくり 「修学旅行について」
1月	○車椅子理解 「私たちにできること」 ○車椅子体験	○部落問題学習 「休憩時間の出来事」 「言葉の持つ重み」 ○身分制度学習	
2月			○人権・同和問題学習 「美しいメッセージ」
3月	○ハンセン病の学習		